

桜植樹から 10 周年 備前堀桜まつりを開催

県道本庄寄居線を国道 17 号から北へ進み、久々宇の集落を抜けて少し進んだあたりを流れる灌漑用水路、「備前堀」。その歴史は古く、江戸幕府の命により 1604 年に開発され、400 年以上の歴史を持ちます。開削当時は遠く忍領・羽生領等にわたり広い範囲を灌漑してきましたが、現在は本庄・深谷・熊谷に用水を供給しています。

かつて備前堀は、ゴミの不法投棄などにより景観が損なわれていた時期がありました。そこで、環境美化と桜並木を中心とした花いっぱいの快適な環境を作ろうと、仁手・下仁手・久々宇・田中・上仁手の 5 自治会が『備前堀桜の

会』を設立。平成 20 年 3 月 9 日、備前堀橋からあづま橋までの右岸約 2 km の区間に、地区ごとに会員各自が桜の苗木 157 本を植樹しました。地域の努力が実を結び、今では立派な桜並木となり、ゴミの不法投棄も減少。現在も除草、清掃、害虫駆除など、維持管理に取り組んでいます。

4 月 7 日、植樹から 10 周年を記念し桜まつりを開催。当日桜はほとんど散ってしまったものの、多くの住民が集まりました。開催の挨拶で茂木悟会長は、「地域を美しくするための桜づくり、そしてみなさんが訪れたい桜づくりを今後も目指していきたい」と決意を語りました。



◀備前堀に桜の苗木を植樹する様子。土手が広がるばかりの何気ない風景が、10 年の歳月を経て桜が成長し、毎年立派な桜並木が広がる。



1. 満開時には川沿いが見事な桜並木となる
2. 備前堀桜の会のメンバーで記念撮影
3. イベントでは、こだま和太鼓会による太鼓の演奏や、琉球太鼓ダルクによる琉球太鼓の演奏が行われ、盛大な盛り上がりを見せた



地域力で植栽 東小平の芝桜

4～5 月にかけて、児玉総合運動公園東側の斜面に色とりどりの芝桜が顔をのぞかせます。この芝桜は NPO ネットワークひがしこだいらのメンバーにより

平成 21 年から少しずつ植えられたもの。これまでもたびたび NHK のニュースで紹介され、開花の時期には市内外から多くの見物客が訪れています。

特集 桜

今年も市内各地で立派に咲き誇り、街に賑わいをもたらした桜。今年は桜が早咲きのため、市内の桜の名所では、早くから見物客が訪れ、桜を楽しむ光景が見られました。

市内には、若泉公園、城山稲荷神社、こだま千本桜、雉岡城跡をはじめとする桜の名所があり、そのほか市内各地の寺社の境内や、民家の庭先にも立派な桜が咲き、道行く人を楽しませます。

毎年私たちを楽しませてくれる桜。その桜を植樹して美しい風景を作りだし、多くの花見客が訪れる名所にして地元を盛り上げようと立ち上がる地域住民たちの姿がありました。

